



平成24年 3月13日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武 祐
コ ー ド 番 号 2 9 2 9 (東 証 マ ザ ー ズ)
問 合 せ 先 総 務 部 部 長 新 谷 義 信
T E L 0 7 5 - 3 9 4 - 8 6 0 0

営業外費用（為替差損）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成24年7月期第2四半期において営業外費用（為替差損）を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年9月13日に発表いたしました平成24年7月期（平成23年8月1日～平成24年7月31日）の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

I. 営業外費用（為替差損）の内容

昨今の為替相場の変動により、平成24年7月期第2四半期において為替差損13百万円を計上いたします。

II. 業績予想の修正

平成24年7月期第2四半期累計期間業績予想の修正（平成23年8月1日～平成24年1月31日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	557	△12	15	13	221円28銭
今回修正予想（B）	535	△63	△42	△102	△1,748円11銭
増減額（B－A）	△22	△51	△57	△115	△1,969円39銭
増減率（%）	△3.9	－	－	－	－
（ご参考）前年同期実績 （平成23年1月実績）	386	△83	△52	△53	△912円88銭

平成24年7月期通期業績予想の修正（平成23年8月1日～平成24年7月31日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	1,200	30	50	45	765円96銭
今回修正予想（B）	1,200	10	30	0	00円00銭
増減額（B－A）	－	△20	△20	△45	△765円96銭
増減率（%）	－	△66.7	△40.0	－	－
（ご参考）前年同期実績 （平成23年7月実績）	1,006	△44	32	△46	△793円23銭

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 修正の理由

(1) 平成24年7月期第2四半期累計期間

売上高につきましては、主力であるファーマギヤバ及び葉酸たまごの国内売上が伸び悩み、OEM事業やバイオメディカル部門の受託業務が好調に推移したこと等による増収要因はありましたが、当初予測を若干下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、利益率の高いファーマギヤバの売上が伸び悩んだ事と、売上構成割合がOEM事業等の収益性の低いものに偏ったことにより売上原価が増加し、営業利益は当初予測を下回る見込みとなりました。

経常利益、四半期純利益につきましては、補助金収入の計上等はありましたが、為替差損、有価証券売却損の計上により、それぞれ当初予測を下回る見込みとなりました。

(2) 平成24年7月期通期

通期の業績予想につきましては、第3四半期以降、国内営業において新たに通信販売事業を開始しており、今期中に製品ラインナップを増加する事で売上高の回復を見込んでおります。

海外では北米、中国を中心に営業展開を拡大しており、北米ではファーマギヤバ、中国ではボーンペップを中心とした営業展開を行い、新規採用商品獲得と大型ビジネスの構築に取り組んでまいります。またタイ、台湾等、他のアジア諸国での営業展開も行っており、海外売上高の拡大に取り組んでおります。

以上により、売上高については概ね当初予測通りに推移するものと判断し、変更しておりません。

利益面につきましては、2月以降に開始しました通信販売事業での初期投資、維持費用に係る販管費の増加を見込み、営業利益、経常利益ともに当初予測から変更いたします。

なお、第2四半期において営業外費用に計上しました為替差損につきましては、第3四半期以降、為替相場の変動により損失額は減少傾向にあります。

純利益につきましては、前述の営業利益、経常利益の変更要因に加えまして、第2四半期において特別損失に計上しました有価証券売却損の影響額を見込み、変更しております。

以上